

荒牧町だより

おかげさまで200号

これからもよろしくお願いします

荒牧町だより第200号発刊によせて

自治会長 富澤 柁夫

「荒牧町だより」は、昭和54年5月26日に第1号が発行され、今号で200号となりました。この40年間に発行に携わってこられた多くの皆様のご苦勞に感謝申し上げます。

「荒牧町だより」は、当初は年1回程度自治会の事業計画などをお知らせするものでした。その後、前橋市の生涯学習奨励員制度が発足し広報紙の発行が奨励されたことから、平成4年7月1日から平成10年1月1日まで、生涯学習の広報紙として「荒牧町ダイアルL₂」が41号まで発行されました。

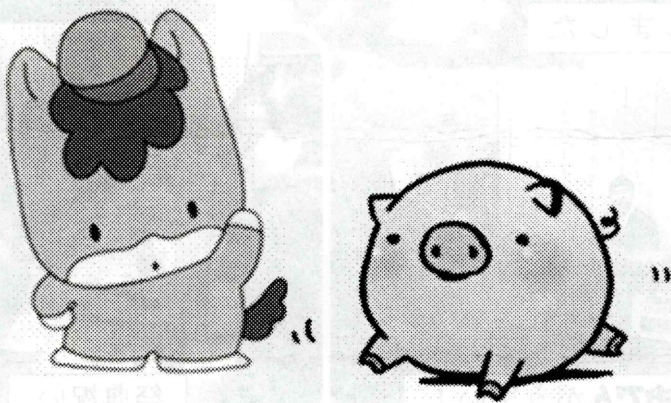
平成11年度からは、生涯学習奨励員が編集委員となり、従来の「荒牧町だより」と「荒牧町ダイアルL₂」を統合する形の新たな「荒牧町だより」が年8回程度のペースで発行されるようになりました。また、平成13年度からは編集委員会（生涯学習奨励員が委員長。16年度からは広報委員会）が発足し、ホームページも含めて広報の充実が図られるとともに、平成25年度からは毎月（年12回）発行されています。

今後とも町内の皆様への貴重な情報媒体として、魅力ある「荒牧町だより」が発行されることを願っています。

荒牧町だより

第200号
荒牧町自治会
広報委員会

200号記念・・・町のゆるキャラ募集！！



荒牧町では、町だより200号を記念して、荒牧町のゆるキャラを募集します。「ぐんまちゃん」や「ころとん」のように、荒牧町のゆるキャラを考えてくれませんか？ 主に、町だよりで活用させていただきます。マンガ好きのお子様も応募してね！

◇キャラクターについて

1. 荒牧町にふさわしキャラクター1体（ゆるキャラ）
2. マンガであらわす（かんたんな表現で）
3. 色は自由（町だよりでは白黒になります）
4. 名前もつけてください

◇応募要領

1. はがきくらいの大きさの紙に書いてください。
2. 作者の、氏名、年齢、住所、電話番号を添えて。
3. 締め切りは、3月11日（月）
4. 荒牧町公民館のポストに投函してください。
5. 頂いた作品は、できるだけ多く町だよりで紹介します。

まっぴーす



二つの会議のお知らせ

お待ちしております



【自治会定期総会のお知らせ】

自治会では、平成31年度を迎えるにあたり、定期総会を開催いたします。

記

◇日時 平成31年3月16日（土）午前9時30分

◇会場 荒牧町公民館

◇協議事項

- 一、平成30年度事業報告及び収支決算報告
- 二、平成30年度会計監査報告
- 三、平成31年度副会長の選出について
- 四、平成31年度事業計画（案）及び
予算（案）について
- 五、その他

* 定期総会資料は組長より各戸に配布します

【平成30年度
第一回組長会議のお知らせ】

記

◇日時 平成31年3月17日（日）午前10時

◇会場 荒牧町公民館

◇議題

- 一、平成31年度行事予定・集金予定について
- 二、荒牧町自治会執務時間、時間外連絡、担当地区代表について
- 三、自治会費の集金、募金の集金について
- 四、会計監査員の選出について
- 五、その他

（*平成31年度の自治会役員として大切な会議ですので、出席をお願いします。）

団地

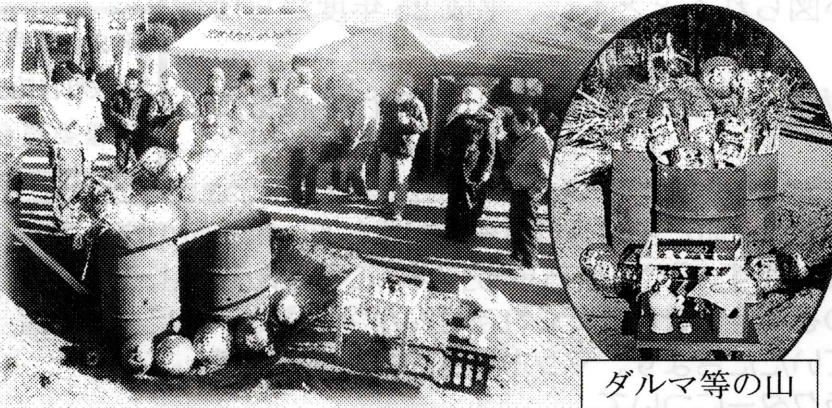
地区だより ～伝統を守り楽しむ～

新田東

お焚きあげ・新年会 1月14日

穏やかに晴れあがり、「かまきり公園」の会場には「お焚き上げ」のセットが準備され、地区の皆さんが持ち寄ったダルマやお札、お飾り等をお焚き上げしました。参加者には前日から役員の方々が準備した甘酒や豚汁、みかんが配られ、子供達には育成会の皆さんによる福引も行われました。会場は玩具やお菓子を手にした子供達の明るい声が行きわたり、大人たちは今年一年の抱負を語り合うなど、家族共々楽しい一時を過ごしていました。

お昼からは、隣のふれあいセンターにおいて新年会が開催され、親子ともども共に料理やお酒を囲んで、今年もお互いに元気に頑張りましょうと話しも弾み、親睦も深められました。(地区代表 笠原)



ダルマ等の山

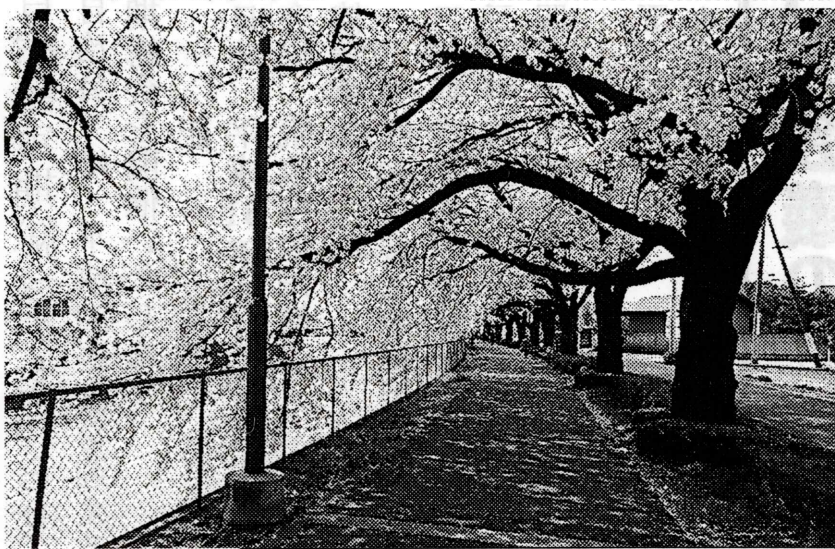


新年会の様子

ここ、どこ?(1)

～町内風景散歩～

この欄では、町内の気になる場所の写真を紹介していきます。さて、どこかわかりますか?



こたえ：荒牧町西端、広瀬川沿いの桜トネネル(4月初旬)

編集後記 「荒牧町だより」200号をきっかけに、新企画「ここ、どこ?」を始め、町内の気になる風景写真を紹介していきます。皆さんの写真投稿も大歓迎です。紹介したい風景写真が撮れましたら、ひとこと添えて公民館の口へ、お願いします。

不動明王祭 1月28日

早朝の厳かな日輪寺ご住職による祈願に始まり、境内には祭事のぼり旗、参拝者を接待する催しを整えました。

そもそもお不動様のいわれは、280余年前から地元の災難除け無病息災として不動明王を祀る信仰と祭典が執り行われてきました。

お堂前には、手を合わせる多数の人々、手慣れたしぐさでつくる綿菓子、器用に作るところてん、年季の入ったおでん鍋、福引といった賑やかさで、さながら縁日を思わせるようでした。この祭典の実施にあたった実施関係者や、参拝の方々に心より御礼を申し上げます。

近年では、古くからこのような祭事は無くなる一方でしょうから、これからも盛大にし続けていかなければと思う次第です。(地区代表 篠原)



参拝しました



このおでんがうまい!



祭典祝い

上毛かるた大会 1月6日(日)

大会は27名が参加し、最初は緊張したような面持ちで、動きも固かった子どもたちでしたが、回数を重ねるごとに対戦はヒートアップし、会場が熱気に満ちていきました。それぞれの子どもにお気に入りの絵札があるようで、その札を必死に取りに行く姿に自分の子どもの頃が重なり、とても懐かしく感じました。

上毛かるたは、かるたとして楽しみながら、郷土ぐんまの歴史や文化などが学べる素晴らしいものです。来年もたくさん子どもたちが参加してくれることを期待しています。(育成会文化部 木下)

